

2. 整備事業

(岩手県 平成27年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				被災前 22年度	1年後 (平成24年)	2年後 (平成25年)	3年後 (平成26年)	目標値 (平成26年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
住田町	(有)気仙環境保全	畜産物共同利用施設整備(プロイラー(鶏糞))	鶏糞炭化総処理量 16,450t	14,763t	-	17,636t	18,788t	16,450t	114.2%	鶏糞炭化総処理量が18,788tとなり成果目標を達成した。	家畜排せつ物利活用施設・地盤沈下埋め立て補修	3,486,000	1,660,000	553,000	553,334	719,666	H25.2.20	早急な復旧により被災前を超える処理量(達成率114.2%)に復旧できた。今後も地域のプロイラー産業の発展のため安定的な処理を目指したい。	達成率114.2%となっており、処理量については問題ないと思われるので、生産される炭化物の農地利用拡大について支援していきたい。	
陸前高田市	今泉復興農事組合	耕種作物共同利用施設整備(水稲)	農産物処理量の回復	35.0t	-	16.8t	26.2t	11.0t	238.2%	H26の処理数量は26.2tで目標を達成した。	乾燥調製施設(乾燥調製施設建屋一式)(81㎡、11.0t)	7,980,000	3,990,000	1,330,000	1,773,000	887,000	H25.3.13	乾燥調製施設の整備により営農再開することができ、処理量は目標を大幅に上回った。また、施設整備により当組合の米を待っていた方々に届けることが可能となり、収入を得て更なる目標ができた。一方、復旧後のほ場の石拾いに苦労しているほか、水利の確保に苦慮しており井戸や配管の整備に経費がかかる状況となっている。また、鳥獣被害防止に電気柵を設置するも完全な効果が得られず、収量が減少するほ場があることなどが、被災前の状況にまで復旧するための課題となっている。今後はこれらの課題解決に向けてさらなる対策を検討し、施設利用率の向上を図ってまいりたい。	計画以上の処理数量となっており順調に経過しているが、被災前の経営規模までは復旧できていないことから、引き続き関係機関と連携し事業実施主体の営農活動を支援する。	

都道府県平均達成率	176.2%	事業実施地区全てで目標を達成できている。今後は必要に応じて関係機関と連携し、支援していく。
-----------	--------	---

- (注) 1 別紙様式1号の2に準じて作成すること。
 2 H23要領第1の1の(2)のイの(ア)のaからc又はH24要領第1の1の(2)のイの(ア)から(ウ)の場合にあつては、「事業実施後の状況①」の欄を追加し、記入すること。
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。